

# きした 敬 木下けいじ 県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

## 「ちばデスティネーションキャンペーン」

# 木下県議、第2弾の実施を提案

### 南房総市・安房郡特集 9月県議会一般質問

旧千倉町議から町長、さらに県議会議員と、豊かな地方行政の経験を誇る木下敬二(きした けいじ)県議は、9月定例会でも一般質問に登壇し、県南地域の活性化を目指して多くの提案・要望を行いました。特に今回は、観光立県を掲げる森田知事に対し、デスティネーションキャンペーンの第2弾を実施すべきと思うがどうか、と提案し、知事も「前回の実施から3年が経過し、検討の時期にきている」と積極的に応じました。また、木下県議は、県南地域の声を背に、地域特産品の開発と販売に向けた県の一層の支援策を求めました。主な質疑を1、2面で特集しました。



小泉純一郎元首相と語る木下敬二県議

波及効果も150億円増加したといわれ、十分な効果を得たことは言うまでもありません。そこで、観光立県を定着させるため「ちばデスティネーションキャンペーン」の第2弾を実施すべきと思うがどうか。

森田知事 平成19年に、オール千葉県の体制で「ちばデスティネーションキャンペーン」を展開したところ、観光客数、宿泊客数ともに増加し、経済波及効果も確認したところです。

県では、こうした成果を受け、年間を通じた切れ目のない観光キャンペーンを展開してまいりましたが、前回



# 観光立県目指し積極対応

木下議員

国も観光立国を目指す中で観光庁を創設しました。県は、JRGグループと連携して平成19年2月から4月30日までの3カ月間にわたり、「ちばデスティネーションキャンペーン」を展開し、期間中の観光客数は前年同期比で220万人増加し、生産

の実施から3年が経過し、今回のデスティネーションキャンペーンを検討しても良い時期にきていると考えております。

実施する場合は、地域の機運の醸成や主体性が何よりも重要です。県としては、こうした地域と連携し、力を合わせて実施することを基本に検討していきたいと考えています。

## 宿泊客増加へ取り組み

木下議員 次に2点目として、おもてなしの心が必要だといわれている宿泊関係について、宿泊者数を増やすための政策をどう考えているのか。

森田知事 宿泊客の増加を図るためには、心のこもったおもてなしで「また来たい」と思っていただけのような個々の宿泊施設の魅力向上と、宿泊に誘導するための地域としての取り組みが必要だ。

## 交通安全対策

## 「交差点改革」への対応

木下議員 事故削減に向けた「交差点改革」について、県警としてどのような対応を考えているのか。

警察本部長 千葉県内で平成21年中に発生した人身事故のうち、交差点内で発生した事故は、全体の約46%を占めております。信号機は交差点における事故を抑制するために有効であり、

今後とも必要な場所に設置してまいりたいと考えております。

しかしながら、信号無視による人身事故も多発しており、「守られにくい信号機」の解消に向けた交通事故抑止対策に取り組んでいるところです。

木下議員 平成21年度の国からの交付金による信号

## 夢ある南房総市・安房を築きます

●県政や南房総市・安房郡のご相談をお寄せください……

〒295-0005 南房総市千倉町牧田164-1  
**木下けいじ** 県議事務所 TEL.0470 (44) 4111  
 FAX.0470 (44) 4112

●木下けいじ公式ホームページ=http://kishita.awa.jp/ ●Eメール=kishita@awa.or.jp

**要望** 県民の生命を守るという大きな視点に立って判断し、できる限りの予算措置に配慮していただくよう強く要望します。

機の設置予定数はどうか。また、平成22年度の県単独事業及び国の補助事業による設置予定数はどうか。

警察本部長 平成21年度2月補正予算で認められた国の交付金は、信号機の新設として20基が措置されました。また、平成22年度は県単独事業で40基、国の補助事業で30基の設置を予定しています。



# 地域特産品開発に県の支援を!

## 加工設備補助の制度化提案

**木下議員** 千葉県では、農林水産物の加工技術が、歴史的に他地域と比べ遅れをとっており、農林水産物の高付加価値化が思うように進んでいない現状です。このため、新たな特産品開発を継続的に実施する必要があります。そこで、小規模な加工グループによる農林水産物の新たな特産品開発を、県はどのように推進しようとしているのか。

**農林水産部長** 農林水産物の加工による特産品開発は、農林漁業者の所得向上や地域産業の活性化に、大変重要な取り組みだと考えています。そこで、県では普及活動の一環として、農山漁村地域における女性起業家などに対する加工品開発講座や販売力アップ研修などを実施しているところです。

さらに、昨年9月に「ちば農工商連携事業支援基金」を創設し、農林漁業者と中小企業者の連携による南房総市の「すもも」を利用したデザートや御宿町の「スルメイカ」を使った沖漬け等の新商品開発などを支援しています。今後とも、小規模な加工グループによる特産品開発などを支援しながら、県の総合計画で目指している「地域を支える力強い農林水産業」の展開を図ってまいります。

**要望** 新商品の誕生を誘発するための小規模な加工機械設備導入補助制度の創設を検討し、財政当局と折衝の上、予算付けするよう心より強く要望します。



本会議場の壇上に立つ木下敬二県議

### 地すべり対策

## 地元との体制づくり要望

**木下議員** 千葉県には、地すべり防止指定地域が国交省所管で31カ所、農林振興局所管で54カ所、林野庁所管で30カ所、それぞれあります。地すべり防止対策は、緊急度に応じて対策工事が順次実施されていますが、いまだ先が見えない状況です。

**農林水産部長** 県では単独事業により①地すべりの状況の定期的な調査②破損した地すべり防止施設の補修や地すべり発生初期段階での対策工事の実施などの対策を行っています。地すべりの発生初期段階で対応することは、費用

### 初期施工で対処

**木下議員** 維持管理経費の確保について、県はどのように考えているのか。

**農林水産部長** 県では事業の徹底的な見直しを図り、限られた人的資源を真に必要な施策に重点的に配置する②職員が持つポテンシャルを最大限に引き出し、県庁全体の生産性を向上させることを基本的な考え方としています。

## 南部出先機関の再編で提言

**木下議員** 行政改革推進委員会が検討される定員適正化計画について、検討状況及び策定に当たっての基本的な考え方はどうか。

**総務部長** 地方分権の進展や厳しい財政状況などを踏まえ、組織の簡素・効率化を進め、職員数の削減に努める必要があると考えており、今年度、新たな定員適正化計画を策定することとしています。

### 農林水産



自席から挙手し、再質問に臨む木下県議

**木下議員** 行政改革推進委員会が検討される定員適正化計画について、検討状況及び策定に当たっての基本的な考え方はどうか。

**総務部長** 地方分権の進展や厳しい財政状況などを踏まえ、組織の簡素・効率化を進め、職員数の削減に努める必要があると考えており、今年度、新たな定員適正化計画を策定することとしています。

**木下議員** 出先機関の再編に関して、農林振興センターで行っている林業関係業務を、3林業事務所に集約化することが、林業技術職員の減少化を考えると、最善と思われるかどうか。

**農林水産部長** 農林振興センターと林業事務所のあり方について、ご指摘のありました林業関係業務を林業事務所に集約化する方法や、農林振興センターの林業部門として集約する方法などが考えられます。

**木下議員** 私は逆転の発想から、南部林業事務所に森林・林業事務を移管すべきと考えます。南部漁港事務所も、行政改革との関連もあると思いますが、いづれにしろ地元の意向を感じ取っていただくよう強く要望します。

**要望** 私は逆転の発想から、南部林業事務所に森林・林業事務を移管すべきと考えます。南部漁港事務所も、行政改革との関連もあると思いますが、いづれにしろ地元の意向を感じ取っていただくよう強く要望します。

## 地域の声を県政へ

# 木下けいじ県議

○南房総市・安房郡特集○

## 木下けいじ県議・PROFILE

### 略歴

- 昭和23年5月 旧千倉町に生まれる
- 昭和46年3月 日本大学経済学部卒業
- 平成7年3月 千倉町議選当選
- 平成13年4月 千倉町長選当選
- 平成19年4月 県議選当選

### 経歴

- 県議会 総務常任委員会委員  
不正経理調査特別委員会委員  
決算審査特別委員会委員
- 自民党県連 政調会農林水産部会副部長  
農業土地改良議員連盟  
水産振興議員研究会  
会計監査